

# 放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日: 2024年 1月 28日

事業所名: 夢門塾海老名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	7	2	1	・利用者の身体も成長し日によっては狭さを感じられるようになっているため、運動プログラムの計画は動作に問題がないか確認しながら実施している。
	②	職員の配置は適切である	8	2	0	・同性介助の必要な場面での負担感を分散できる配置にしている
	③	衛生面の管理が行き届いている	10	0	0	・感染対策マニュアルに沿った対応を心がけている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	8	1	1	・さらにPDCAサイクルの取り組みを深めていく。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	10	0	0	・保護者様のご意見を職員全体で共有し、業務改善に繋がるよう実施している。
	⑥	自己評価の結果を公開している	6	4	0	・ホームページで公表している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	10	0	0	・エリア勉強会や職員全体研修等を実施している。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	9	1	0	・保護者様、児童自身のニーズを大切に計画を立てている。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	7	3	0	・担当や役割分担等を決め、職員全員で意見や改善点を共有している。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	10	0	0	・公共交通機関の利用や社会性や生活につながるプログラムを取り入れ、近隣他事業所との差別化を図っている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	9	1	0	・利用者の特性や教室の環境を踏まえ、その時に応じたプログラム作りに努めている。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	10	0	0	・日々の状況で必要に応じて活動ができるように配慮している。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	0	0	・企画進行書をもとに乗車計画やマンツーマン対応の有無と役割を確認している。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	0	0	・記録は取っているが、記録の見直しがまだ不十分なので改善に努める。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	7	3	0	・定期、または、随時のモニタリングを行っている。
⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	9	1	0	・ガイドラインに記載されている内容を複数組み合わせで行っている。	

	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	1	1	・情報共有を努めているが、まだまだ足りないこともあるので、これからはしっかりと情報共有を行う。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	1	7	2	・就学前は連携がないが、今後必要時には行っていきたい。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	4	6	0	・学校や保護者を介して情報提供をしている
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	7	2	・専門機関との連携は現在のところ機会がないが、今後利用したいと思っている。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	10	0	0	・送迎時等に情報をやり取りし、共有している。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	9	1	0	・契約時に説明している。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	10	0	0	・送迎時や問い合わせなど随時対応を行っている。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	2	7	1	・今年度は開催数が少なかったため、今後は回数を増やして行っていく。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0	0	・共有不足で苦情につながったケースがあったため、職員間で情報の共有をしてから送迎や対応に向かっている
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	10	0	0	・毎月のおたより(夢便り)や利用予定表での行事の情報提供を行っている。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	10	0	0	・個人情報の同意書などにて意向を確認している。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0	0	・コドモンアプリで夢通信を見る家庭もある為、スマートフォンからも見やすいプログラムの案内を行っている。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	2	6	2	
	非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	10	0	0
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	10	0	0	・年2回行っている。
㉒		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	0	・毎年行っている。
㉓		いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	9	1	0	・身体拘束が必要な利用者がいない。
㉔		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	8	1	1	・与薬表はない。送迎時や事前連絡で伺った内容を守り本人が服薬している。
㉕		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	10	0	0	・事故の防止策として教室で定期的に危険予知をして防止に努めている。

保護者様評価、自己評価についてまとめ

・新型コロナウイルス5類移行に伴い保護者会の開催や児童発達センターや相談支援事業所、就労支援施設と地域との関りをもった開かれた教室運営をしていく。  
 ・人数が増えてきたため、より一層支援計画書の確認や送迎ルート、送迎環境を見直した支援の質向上に努める。